

◎5組の取り組み◎

<Yさん>

国語・算数の取り組みです。教科書の「たいこでドンドン」という音のなる絵本を見たり触ったり、聞いたりする学習をしました。手を動かしやすいように、興味関心のあるものに手を伸ばすことができるようにと、うつ伏せの姿勢で行いました。

絵本を目の前に置くと、手を伸ばす様子が見られるようになりました。教師が好きな曲のスイッチを押すと太鼓面でさかんに手指を動かしていました。また、絵本を10cm程の距離で近づけると注視する様子が見られました。さらには絵本の曲のスイッチ(本児から見て上の方)を左手を伸ばして触れ、曲が鳴っているのを止めたり、違う曲を鳴らす様子もありました。小さい窓の絵(スイッチ)が見えたことで、自らの左手を動かし、そのスイッチを押して曲を止めたり違う曲を鳴らしたりするようになりました。



<Tさん>

食事の場面での取り組みです。お腹がすいたことを口で音を出して伝えたり、給食の匂いのする方や給食の準備をしている教師の方を見たりする様子が見られ、給食の時間であることがわかっている様子が伺えました。

教師がスプーンを口に近づけると、匂いを感じて口を開く様子が見られました。食べ物の取り込みや飲み込む時には、口唇閉鎖ができていました。

また、食べ進めていく中で、何が食べたいかをメニューや食べ物の名称で伝えると、食べたい時には口を開け、食べたくない時には口を閉じたままにする様子が見られ、自分の思いを伝えることができていました。

